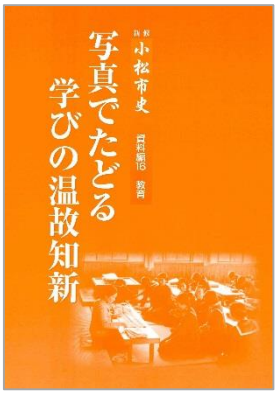
市史へんさん

第 245 号
令和元年８月１日
小松市史編纂事務局
へんさんだより

夏の夜の風物詩として，ひと昔前は，「虫送り」がありました。麦藁等でつくった松明(ﾀｲﾏﾂ)をかざし，大太鼓を先頭に，畦道を歩く行事です。害虫駆除が本来の目的でしたが，農薬の普及で衰微しました。この虫送り行事が，木場潟に生えるヨシの活用で，木場町で復活しています。ヨシには潟の水質浄化(生活排水に含まれる窒素やリンを吸収する)の効果があり，毎年 11 月に刈り取ったヨシを松明に利用して，虫送りを行っています。今年は 7 月 28 日に実施され，燃え上がる松明は壮観でした。生態保全と伝統行事の保護。まさに一石二鳥の技です。

『新修 小松市史 資料編 16 教育』 7月 25 日 販売開始



仕　　様	B5 版　上製本 布装丁　貼ケース入り DVD 付　本文 417 頁
特別価格	3,800 円（7月～12 月）
定　　価	5,000 円（令和２年１月～）
販 売 所	市史編纂事務局 うつのみや小松店 明文堂書店

【本書内容】

第１章 近世の教育と修学
近世教育の筆頭に上げられる集義堂を始め，修道館，必下書院の他，私塾，寺子屋関係の史料を紹介。

第２章 近代教育のはじまり
明治５年の学制頒布から中期の教育勅語発令前を主に取り上げる。当時の学校設立への意欲が伝わる。

第３章 近代教育の成立
近代教育のシステムが定着する中，明治後期の小学校の様子を見る。特に，教育勅語の各校の対応に注目。

第４章 大正時代の教育
大正期は社会，経済情勢が著しく変動し，その変化に即応する教育が期待された。その様子を史料から伺う。

第５章 戦時下の教育
軍国主義が教育界にも影響を与え，教育学習より生産・勤労作業が重視されていった。その背景を追う。

第６章 近代の中等教育
明治 32 年に中学校・高等女学校・実業学校令が制定され，中等学校の骨格が定まった。その変遷を探る。

第７章 戦後教育の民主化
戦後の教育界における旧体制の排除と民主教育の進展を，教育行政，教育活動の実態からまとめる。

第８章 個別化・多様化する教育
昭和 50 年代のゆとり教育から平成 10 年頃の学校週五日制までの生徒指導，地域の教育力に焦点を当てる。

第９章 教育諸団体の活動
小松市教育総合計画を掲げ，諸団体の活動として，PTA，教職員組合，教育振興会，教育研究所を紹介。

第 10 章 現代の高校教育と大学
戦後の旧制中等学校教育から新制高等学校教育の変遷と高等教育機関である大学の新設について収録。

第 11 章 近現代の社会教育
青少年の動きに注目し，青年団活動，青年学級の開設，社会教育の推進，図書館設立の面から実態を窺う。

第89回市史講座　　講師：中森　勉氏（金沢工業大学建築学部教授）

「小松市の農家建築」～小松の農家からみた石川県の農家建築の特徴～

今回の講座では，『新修 小松市史 建築編』で取り上げた農家を中心に，山間部と平野部との違いや時代によっても違う農家建築の様式について紹介した。

山間部では，林業を営む家では，かつて「ウマヤ」が設けられ，運搬に馬が使われなくなると，その空間は「ヒロマ」「オエ」に転用された。また，明治期に建った家は，もとは茅葺きであったが，板葺き，そして現在では瓦葺きと変遷している。この変遷は，県全域に共通の発展形態である。

一方，平野部の農家は，バリエーションが多く，基本は，ゲンカンからニワ，ドマ，オエと続き，その後ろに田の字型の４室(クチノマ・ナンド・ブツマ・カギノマ)から成る，いわゆる「加賀Ⅰ型」のタイプが大半である。このⅠ型に，家族団欒の空間としてチャノマが出現すると，ダイドコロと共に主屋の横に張り出したり(Ⅱ型)，或いは，チャノマ兼ダイドコロとして，主屋の一部分を構成したり(Ⅳ型)，全く主屋から別棟になったり(Ⅲ型)，Ⅰ型を基本にアレンジが出てくる。間取りには能登とは違った地域性があり，時代によっても変わってきている。

＜事務局７月の活動予定＞

- ７月４・11 日　新聞記事(小松関係)資料調査
- ７月4・5・9・13・20 日　国府村役場文書資料調査
- ７月６・25 日　赤瀬町町有文書資料調査
- ７月 14 日(日)　市史講座
- ７月 17 日(水)　「方便法身尊像」裏書調査
- ７月 24 日(水)　『教育編』完成報告会
- ７月 25 日(木)　近現代部会
- ７月26・30・31 日　財政資料調査
- ７月 27・28 日　虫送り調査(木場町)
- ７月 31 日(水)　新修小松市史編さん・編集委員会

☆参加された聴講者からの声☆

- 農家の家(江戸期の建物)に生まれたので，大変懐かしかった。
- 多くの事例を見比べると，共通点がよくわかり面白かった。
- 他の地域との比較もあって面白かった。
- 多数の写真，データを足で収集されたと聞き，感心した。
- 当市全域に亘った調査なので，春秋２回講座をしてほしい。
- 山村部，集落部，海岸部とを比較して調査を展開しては。

＜事務局８月の活動状況＞

- ８月 12 日(月)　考古部会
- ８月 28 日(水)　通史(全体)部会

＜8月のカレンダー＞　開室時間　9:00～17:00

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

＊　　は小松市史編纂事務局が閉室しています。

小松市史編纂事務局（小松市立図書館２階）
- 住所　〒923-0903　小松市丸の内公園町 19　芦城公園内
- TEL　0761(24)5315　・FAX　0761(22)9763
- E-mail　hensansitu@city.komatsu.lg.jp
- URL　https://www.city.komatsu.lg.jp/soshiki/toshokan/shishihensan/index.html